

こすど 公民館報

発行所 小須戸町公民館
発行人 小須戸野良知
発行日 毎月15日
印刷所 昭栄堂印刷所



広報改名について

ご挨拶

公民館長 間野良知

新しい昭和四十八年度を迎えるに当たり、標題のように広報の名を変えたいことになりました。これはすでに皆さんのお手元へ届いておりますように、役場から「町だより」という広報がでることになったからであります。発行日も毎月一日に、こちらは十五日と定まりました。もちろん一切について両方十分話しあった結果であります。

「公民館報」は皆さんの新聞であり、皆さんの発表の場でもあります。広報改名にあたり一言ご挨拶とお願いを申し上げます。次号は四月十五日発行です。

昭和三十三年四月号から「広報こすど」と改名し、号を重ねること一九九回、ここでもまた新しく改名となったのであります。

よりいっしょに成長したいと思っております。どうぞご支援をお願いいたします。横町の坂井清風先生にご執筆をいただきました。先生は佐藤江山先生と共に、本町が生んだ書家として、つとに名高き方です。



「花とみどりの小須戸町」 雁 卷 堤

町議会一般質問傍聴記

町議会 本会議で、四月八年度の道路舗装はどの程度まで進んでいるか、お聞きしたい。また、全町民の関心事であると思えること、今後の努力を願う。

(1) 関係農家に対する十分の保護を当局へ要望している。今後とも努力を続ける。また、コンバイン等キャタピラのある機械については、軽自動車なみ課税となることは止むを得ない。

(2) 歳費の引上げは住民の立場で考えるべきである。嘱託員制度については、議員として必要な金額であると思ふ。嘱託員は、非常勤特別職であり、議員と兼任は疑義があると見られる。

(3) 土地計画審議会に於いて、その全貌をすてに発表している。小須戸橋の移転と共に、パイパスを要望実現したい。公害のない企業誘致の他に、花卉園芸の奨励と後継者のための研修機関等も設けたい。

(4) 工場団地を作り低賃金から脱却すべきではないか。町道舗装の負担金は取るべきか。農業対策は抽象的か。農業者の皆さんで考えることが大切ではないか。

(5) 天ヶ沢における土取り公害は町がいろいろなことに反対してはどうか。町道の無断使用があるといふがどうするのか。三月三十一日で停止する予定だ。整地も充分する町道使用はもとより、自治体が出すように努力する。

世代の人づくりをいかにするや。四十八年度の道路舗装はどの程度まで進んでいるか、お聞きしたい。また、全町民の関心事であると思えること、今後の努力を願う。

選挙違反議員の問題、政治の中に発想の転換と、イメージチェンジが必要であり、そこから明るい町作りができる。

小須戸中学校の生徒は礼儀が正しく素直で、真面目な子が多いのだから、その反面、積極性や自主性に乏しく、物事をやりぬく根性が足りないかと思ふ。

信江の水ぬるみ、花信しぎりの好季節、皆様には益々ご健勝でお過しのことと存じます。このたび「花弁とニットの町」小須戸の地に、しかも歴史と伝統に輝く小須戸中学校を拝命し、その光栄を思ひ、その責任の重大さを感じている者であります。

本校の教育目標は、ご存知のごとく「豊かな知性と、あふれる実践力」を身につけようである。これは地域の教育課題をふまえた、わたしたち教師の「小須戸の生徒に、こんな生き方をしたい」、また教育活動に取り組む教師の「構え」でもあります。

三月八日、果樹栽培担当の長塚技師をお迎えしての講演と実習の指導会を行いました。

新社会教育役員体制きまる

二カ年の二期満了にもない、教育委員会ではつぎの皆さんに、ご委嘱申し上げました。

- 公民館関係
館長 間野良知
副館長 木村敬三郎
森田 登
- 社会教育関係
社会教育委員
楠原 真次
高橋 哲也
中野 桑男
佐藤 克雄
松沢 キョ
連合P会長
萱森 朝夫
長沢万寿広
木村敬三郎
森田 登

体育指導委員
平間 福治
本多 和雄

町有地のトウキを早急にすべきだ。外灯料の町負担、町名と新住宅地の町名等、また青少年の問題については、十分な指導と援助が必要と思ふ。

天ヶ沢における土取り公害は町がいろいろなことに反対してはどうか。町道の無断使用があるといふがどうなのか。三月三十一日で停止する予定だ。整地も充分する町道使用はもとより、自治体が出すように努力する。

本校の教育目標は、ご存知のごとく「豊かな知性と、あふれる実践力」を身につけようである。これは地域の教育課題をふまえた、わたしたち教師の「小須戸の生徒に、こんな生き方をしたい」、また教育活動に取り組む教師の「構え」でもあります。

三月八日、果樹栽培担当の長塚技師をお迎えしての講演と実習の指導会を行いました。

お別れのことば

小須戸中学校長 大橋秀吉

ご支援をいただきながら毎日愉快な勤務をさせてもらいましたが、三月末をもって退職することになりました。長い間、大変お世話になりました。衷心よりお礼申し上げます。

この町も私の赴任した年から赤字再建団体に指定され、町財政も不如意だったにもかかわらず、職員共々、温室内、町民体育館等の大工事をしてくださった。すっきりした面を一新しました。

小須戸中学校の生徒は礼儀が正しく素直で、真面目な子が多いのだから、その反面、積極性や自主性に乏しく、物事をやりぬく根性が足りないかと思ふ。

信江の水ぬるみ、花信しぎりの好季節、皆様には益々ご健勝でお過しのことと存じます。このたび「花弁とニットの町」小須戸の地に、しかも歴史と伝統に輝く小須戸中学校を拝命し、その光栄を思ひ、その責任の重大さを感じている者であります。

本校の教育目標は、ご存知のごとく「豊かな知性と、あふれる実践力」を身につけようである。これは地域の教育課題をふまえた、わたしたち教師の「小須戸の生徒に、こんな生き方をしたい」、また教育活動に取り組む教師の「構え」でもあります。

三月八日、果樹栽培担当の長塚技師をお迎えしての講演と実習の指導会を行いました。

新任のご挨拶

小須戸中学校長 中野桑男

信江の水ぬるみ、花信しぎりの好季節、皆様には益々ご健勝でお過しのことと存じます。このたび「花弁とニットの町」小須戸の地に、しかも歴史と伝統に輝く小須戸中学校を拝命し、その光栄を思ひ、その責任の重大さを感じている者であります。

本校の教育目標は、ご存知のごとく「豊かな知性と、あふれる実践力」を身につけようである。これは地域の教育課題をふまえた、わたしたち教師の「小須戸の生徒に、こんな生き方をしたい」、また教育活動に取り組む教師の「構え」でもあります。

三月八日、果樹栽培担当の長塚技師をお迎えしての講演と実習の指導会を行いました。

本校の教育目標は、ご存知のごとく「豊かな知性と、あふれる実践力」を身につけようである。これは地域の教育課題をふまえた、わたしたち教師の「小須戸の生徒に、こんな生き方をしたい」、また教育活動に取り組む教師の「構え」でもあります。

三月八日、果樹栽培担当の長塚技師をお迎えしての講演と実習の指導会を行いました。

本校の教育目標は、ご存知のごとく「豊かな知性と、あふれる実践力」を身につけようである。これは地域の教育課題をふまえた、わたしたち教師の「小須戸の生徒に、こんな生き方をしたい」、また教育活動に取り組む教師の「構え」でもあります。

水田村の名主

水田村の名主 柏大治

水田村の名主権は、水田村名主権の助先祖、田上護摩堂山之主、平賀山入道之家臣、権之助と申、近年に湯川村に居住、右湯川村は古村と相見、鎮守五社権現之棟札に大同二年草創と有之由、其後、荒果、私先祖開発仕、宝山建武二年二月二十六日(一三三五)逝去。法名宝性院殿宝真高入居士と号す。

平賀家断絶後、千坂村馬守居城と相成、此の時湯川村より水田へ引移り同村再開発仕候。御打入後、同村肝煎のちに仰付、延宝五年十二月二十六日(一六七七)水田新田開発仕、御水帳に渡、所持仕候。

本村新田共、先祖開発禪宗千昌寺も開基仕候。当時由緒書等は何れも無御座候共、親、権之助八十五才にて、文化十四五年(一八一七)死去仕。存命中、断聞置候、私居宅旧家にて柱は栗木八、九尺廻りに丸木堀込にて土際より角取一尺二、三寸位之角柱に御座候。

この記録により、横山名主の家柄を知ることが出来る。

延宝六年検地があつて水を二分して水田新田と唱え、寛保三年溝口家支

年会議の人たちから「老人憩いの家」に丸型温度計が五箇贈られました。これは、お年寄りの皆さんにも一目で部屋の温度がわかるようにと、各部屋ごとに備え付けられました。関係者からは大へんよろこばれております。

ご老人の皆さま、憩いの家の一刻を、より楽しく、そしておからだを大切にして、精々長生きをして下さい。

温度計のおくりもの

二月のある日、町の青年会

年会議の人たちから「老人憩いの家」に丸型温度計が五箇贈られました。これは、お年寄りの皆さんにも一目で部屋の温度がわかるようにと、各部屋ごとに備え付けられました。関係者からは大へんよろこばれております。

ご老人の皆さま、憩いの家の一刻を、より楽しく、そしておからだを大切にして、精々長生きをして下さい。

この記録により、横山名主の家柄を知ることが出来る。

延宝六年検地があつて水を二分して水田新田と唱え、寛保三年溝口家支

本村新田共、先祖開発禪宗千昌寺も開基仕候。当時由緒書等は何れも無御座候共、親、権之助八十五才にて、文化十四五年(一八一七)死去仕。存命中、断聞置候、私居宅旧家にて柱は栗木八、九尺廻りに丸木堀込にて土際より角取一尺二、三寸位之角柱に御座候。

この記録により、横山名主の家柄を知ることが出来る。

延宝六年検地があつて水を二分して水田新田と唱え、寛保三年溝口家支

胸をうたれる隣人愛

五番町の金沢さんご夫妻

人情紙よりもうすい今の世に、隣家の寝たきり老人を十数年間、親身もおよばぬお世話をして、おさまのようお人がおられる。

この美談の主は、五番町裏通りの新潟交通運輸手、金沢啓吉(四五)八千代(四五)さんご夫妻である。

金沢さんは魚沼郡の出身で、戦中戦後へかけて大陸から内地へとくずくずの辛酸をなめてこられたのであるが、昭和二十六年から当町に住まわれ、現在三男の父母として平和な日々をおくっていら

さらには前隣りにBさんという両足不自由で、車椅子で用を足している気の毒な方がおられるが、ここにも呼鈴をしたら、さうして病室、時など、これまた夫婦交替で、切にお世話をされているという。

Aさん、Bさんはいちも、この善行にいたく心をうたれ、なんとか表彰でもしてあげられないものかとやっきになっている。

真町に咲いた隣人愛が、かもしだす美しい花一輪、ほのぼのと胸あたたまる話題である。

仲よし母さん 二十一年

町に、こんなすばらしい、お母さん会があったのです。

その名も「お茶の間グループ」結ばれてから二十一年、去る三月七日に町長さん、公民館長さん、郵便局長さん等を来賓に迎えて、盛大な記念式があげられました。

三十四名の会員が全員出席で、特に会長阿部ヨ子さんに対する感謝状と記念品の贈呈等もありました。

戦後、まだ日も浅い昭和二十八年の混乱時代に阿部さん連名の呼びかけで、生まれた少グループでしたが、現在は町内ほとんど全部のお母さんたちが入会しています。

その事業もたいしたもの、継続的な健康講座、料理講習、民謡練習、見学旅行等々、そんなところらのおしゃべりグループとは全くちがうのです。

それは何よりも感心することは、皆さんとてもよく気が合って仲のよい



仲よしグループの面々

お世話になりました。今年からよろしく

小須戸小学校関係

出 伊藤 幸子
新津二小へ 太田 ノリ
金津小へ 井ノ木 吾吉
白根小へ 佐々木 吾吉
沼根小へ 樋口 ケイ
亀田小へ 入 榎田 洋子
新津一小 近藤 ニキ
金津小 小中 慎子
結小 田中 慎子
加茂南小 長谷川 ヒロミ
後山小 石田 正

小須戸中学校関係

出 大橋 秀吉
退 職 井越 忠夫
庄瀬 中 田沢 純子
若宮 中 本間 真砂子
巻峰 岡中 斎藤 朋子
横越 中 入 中野 桑男
県管理 小 片岡 梅子
新津二小 小塚 陽子
若宮 中 小塚 考寛
三川 中 赤塚 久子
新採用 矢代田 小学校関係
出 新津結小へ 石田 正

四月二十五日(水)午後一時より老人憩いの家を会場として、昭和四十八年度の始業式と第一回の授業式が行なわれます。始業式には、来賓の方よりご祝辞をいただき、授業として町長さんより「昭和四十八年度町の重点」についてお話を伺うことになっております。

授業が終えてから各クラブ毎に別れた役員を選んでいただいたり年間学習計画を立てていただいたり、各クラブの希望数は、次のようになっています。

四月二十五日(水)午後一時より老人憩いの家を会場として、昭和四十八年度の始業式と第一回の授業式が行なわれます。始業式には、来賓の方よりご祝辞をいただき、授業として町長さんより「昭和四十八年度町の重点」についてお話を伺うことになっております。

授業が終えてから各クラブ毎に別れた役員を選んでいただいたり年間学習計画を立てていただいたり、各クラブの希望数は、次のようになっています。

四月二十五日(水)午後一時より老人憩いの家を会場として、昭和四十八年度の始業式と第一回の授業式が行なわれます。始業式には、来賓の方よりご祝辞をいただき、授業として町長さんより「昭和四十八年度町の重点」についてお話を伺うことになっております。

授業が終えてから各クラブ毎に別れた役員を選んでいただいたり年間学習計画を立てていただいたり、各クラブの希望数は、次のようになっています。

盗難にご用心!!

貯金通帳と印章は別保管に!

最近、郵便貯金通帳や定期貯金証書が盗まれ、お客様の知らぬ間に払い戻される事件が増加しております。

郵政省では、お客様の貯金を守るため、盗難届がある郵便局相互間で払い渡しの警戒を強化し、郵政監察官が犯人を捜査しておりますが、まずお客様から貯金通帳等の保管について、心がけていただきます。

一、盗難の届けは必ず郵便局へ、犯人は貯金通帳を盗むと、その足で郵便局へ払い戻しに現われるのがほとんどです。お客様からの届けが早いほど郵便局相互間の警戒も早くでき、被害を防ぐことができます。また貯金通帳等の記号番号を別にひかえておくと、手配が早くできて便利となります。

以上の点に注意し、あなたの大切な貯金通帳を今一度点検してください。(郵便局・貯金係)

母校の発展を祈りつつ

巣立ちゆくよ子たちの贈りもの

輝かしい春の光に胸をふくらませながら卒業の小中学校の子ども達からそれぞれの母校へ記念品の贈られました。

○小須戸中学校 卒業生 二一六名

○小須戸小学校 卒業生 一三〇名

記念品 校歌大額 美しいメモリー、あたたかく時を知らせてくれることでしょう。

○矢代田小学校 卒業生 五九名 記念品 チャイムベル

○小須戸小学校 卒業生 一三〇名 記念品 美しいメモリー、あたたかく時を知らせてくれることでしょう。

図書ご寄贈

ふたごの校長 片桐喜一 片桐要一
食生活公書 新井通友 松沢キヨ殿より寄贈

ひかり北地に 戸川 幸夫 信濃川 田中 志津

寄贈お礼

東京小須戸会より、老人憩いの家に、浪曲レコードが寄贈され、関係者から喜ばれています。

押し花美術展 出展作品を寄附

新須戸小針の田中の子さんから公民館へ左の書簡を添えて、りっぱな額ふち入美術作品のご寄附がありました。ほんとうにありがとうございます。

「拝啓 いつも広報おすどをありがとうございます。読ませていただき、町の発展のため心をおつくし下さ

押し花美術展 出展作品を寄附

新須戸小針の田中の子さんから公民館へ左の書簡を添えて、りっぱな額ふち入美術作品のご寄附がありました。ほんとうにありがとうございます。

「拝啓 いつも広報おすどをありがとうございます。読ませていただき、町の発展のため心をおつくし下さ

おせわになりました

今年からよろしく

小須戸中学校関係

出 大橋 秀吉
退 職 井越 忠夫
庄瀬 中 田沢 純子
若宮 中 本間 真砂子
巻峰 岡中 斎藤 朋子
横越 中 入 中野 桑男
県管理 小 片岡 梅子
新津二小 小塚 陽子
若宮 中 小塚 考寛
三川 中 赤塚 久子
新採用 矢代田 小学校関係
出 新津結小へ 石田 正

三月旬会報

小須戸町俳句同好会

沢田よりつみたる岸の根の白く
クロカスの花ごきざみに風の中
啓蟄の日に降る陽差やわらかに
春一番連日雨を降らしけり
わがままを許しているも風邪ゆえに
ハウス未だ今日快晴の熱残す
春灯や正座に耐えて若き喪主
粉雪降る佐渡へ向ふや汽笛かな
工夫等のかけ声揃うと東風に乘る
開病の我娘にも春の訪れり
整然と華燭の部屋の種俵
百姓の動く気配や春めきし
髪を刈る玻璃戸をたたく春の風
寒月にかはりもななく雲去来
三寒四温雲動くことしきりなり
春遠し水栽培のヒヤシンス

おせわになりました

今年からよろしく

小須戸中学校関係

出 大橋 秀吉
退 職 井越 忠夫
庄瀬 中 田沢 純子
若宮 中 本間 真砂子
巻峰 岡中 斎藤 朋子
横越 中 入 中野 桑男
県管理 小 片岡 梅子
新津二小 小塚 陽子
若宮 中 小塚 考寛
三川 中 赤塚 久子
新採用 矢代田 小学校関係
出 新津結小へ 石田 正

おせわになりました

今年からよろしく

小須戸中学校関係

出 大橋 秀吉
退 職 井越 忠夫
庄瀬 中 田沢 純子
若宮 中 本間 真砂子
巻峰 岡中 斎藤 朋子
横越 中 入 中野 桑男
県管理 小 片岡 梅子
新津二小 小塚 陽子
若宮 中 小塚 考寛
三川 中 赤塚 久子
新採用 矢代田 小学校関係
出 新津結小へ 石田 正

おせわになりました

今年からよろしく

小須戸中学校関係

出 大橋 秀吉
退 職 井越 忠夫
庄瀬 中 田沢 純子
若宮 中 本間 真砂子
巻峰 岡中 斎藤 朋子
横越 中 入 中野 桑男
県管理 小 片岡 梅子
新津二小 小塚 陽子
若宮 中 小塚 考寛
三川 中 赤塚 久子
新採用 矢代田 小学校関係
出 新津結小へ 石田 正